

CONTENTS

02 いよいよ
ボーイスカウト日本連盟創立100周年

06 年頭所感

10 2022年の主な行事

11 企業や団体とのタイアップによるコラボレーションバッジ
カプスカウト対象“新チャレンジ章”

12 世界のスカウト人口

13 2022(令和4)年度 国際交流事業計画

14 世界とつながるプログラム
JOTA-JOTI 2021

16 野外活動のための安心・安全講座
え! いけないの? 「お業あるある」NG事例

17 ボーイスカウトPRムービーコンテスト2021
入選作品発表!!

18 教えて先輩!
- 進歩に関する特別措置における取り組み事例 -

19 スカウティングと信仰奨励

20 セーフ・フロム・ハームの取り組み

20 維持会員

21 ローカルホットライン

22 新春名刺交換

30 第49回 全国ボーイスカウト写真コンテスト
作品募集

30 計報

31 スカウトショップ

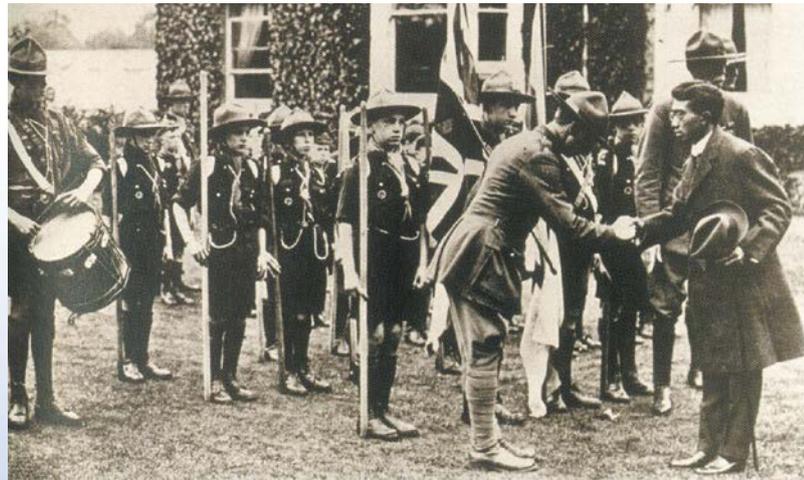
いよいよ
ボーイスカウト日本連盟

創立 100

1921(大正10)年5月21日、皇太子殿下(後の昭和天皇)はエジンバラのボーイスカウトの大集会に出席され、そのときの令旨が日本国内にも伝えられ、少年団関係者に組織統一への意識が高まり、連盟結成へとつながったのである。

1922(大正11)年4月13日、初の全国少年団大会を静岡市で開催して、「少年団日本連盟を結成する」ことを決議し、日本ボーイスカウト運動の全国統一組織「少年団日本連盟」が成立した。

『より良き世界の創造を目指して～日本ボーイスカウト運動100年史～(上・編纂中)』から要旨抜粋



1921年/皇太子殿下(のちの昭和天皇) 写真はロンドン郊外の克蘭フォードにて

■ 祝賀事業(記念式典/レセプション)

全国で開催する各種記念行事のひとつとして、2022年秋(9月から11月の間で調整中)に「記念式典」および「レセプション」を同日開催する計画をたてています。また、各団が集会等でその様子を視聴できるよう、記念式典および特別公演の映像配信を予定しています。

記念式典 参加者/ 県連盟代表者(県連盟役員、スカウト、引率指導者)、来賓・招待者等
最大1,500人

会 場/ 東京・明治神宮会館

レセプション 参加者/ 県連盟代表者(県連盟役員)、来賓等 最大400人
会 場/ 明治記念館

100周年

■ 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 創立100周年記念事業募金

創立100周年記念事業の一環として、「未来の子どもたち基金」の創設とデジタルミュージアムの設立のために記念募金を実施します。本募金にご寄付いただいた方を顕彰し、ご協力金額に応じて感謝状、記念章、記念品などをお送りする予定です。

目的 未来の子どもたち基金の創設
デジタルミュージアムの設立

目標額 総額一億円
募金種類と寄付金額(1口当たり)

① 個人向け / 5,000円、10,000円、
50,000円、100,000円

② 法人向け / 50,000円、
100,000円、500,000円、
1,000,000円
(口数に制限はありません)
※当連盟への寄付は、税制優遇措置
をうけることができます。

募集期間 2021(令和3)年12月～2023(令和5)年3月31日

申込方法 寄付申込書に所定事項を記入して金融機関からお振り込みいただくか、創立100周年記念事業サイトからインターネット上でクレジットカード決済によりご入金いただく方法があります。

https://www.scout.or.jp/member/100th_anniversary_bokin/



■ 完全予約販売 100周年記念出版

現在、ボーイスカウト運動の創始から日本における100年のボーイスカウト運動史をまとめた『より良い世界の創造を目指して～日本ボーイスカウト運動100年史～(上)・(下)』を編纂しています。

この運動100年史(上)を創立記念日である4月13日に発刊します。完全予約販売品ですので、予約締め切りまでにお早めにお申し込みください。

『より良い世界の創造を目指して～日本ボーイスカウト運動100年史～上』

四六判/本文384ページ(予定)

編纂 100周年記念史編纂委員会

予定価格 1,500円(税込・送料別)

荷造送料 全国一律(～2冊500円、～4冊800円、～10冊1,000円) ※11冊を超える場合はご連絡します。

予約締切 2022年2月末日/予約申込数量に基づき正規価格を決定後に振込先とともにご連絡しますので、3月末日までに振り込み願います。

予約方法 右のQRコードからフォームに入力してください。

発送時期 2022年4月13日発行後、4月中旬から下旬に送付先住所へお送りします。

※ 記載いただいた個人情報、本件販売以外には使用いたしません。

※ 予約に関する詳細は、日本連盟ホームページをご確認ください。



YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN

1922 - 2022

これまでに設けられた周年記念章や記念事業の一部をご紹介します

創立50周年

1972(昭和47)年

東京大銀座祭りのオープニングパレード
記念切手も発行された。



創立60周年(世界スカウト運動75周年)

1982(昭和57)年

記念オープニングフェスティバルに関東ブロックから代表スカウト1,800人が集った。



創立75周年

1997(平成9)年

全国を結ぶ自転車キャラバンを展開した。



創立90周年

2012(平成24)年

全国のスカウトで合計90万キロを歩こう! というぎずなウォークを展開した。



■「スカウトの夢」「スカウトの歌」プロジェクト

将来を担うスカウトたちの「夢」は、ボーイスカウト運動にとって、これからの100年に向けた貴重な財産です。現在、全国のスカウトに、ボーイスカウトの楽しいところや将来の夢を聞いています。

スカウトから寄せられた「夢」は、今後さまざまなプロジェクトに活用していきます。

スカウトの夢プロジェクト

2021年10月から募集を開始した「スカウトの夢」ですが、第1期募集では、募集開始から1か月弱の間に300件近くの夢が集まりました。スカウトの夢を全国の指導者や保護者、また同年代のスカウトが共感し、協力や支援の輪を拡げていけるよう、引き続き、より多くの夢を募集します。

スカウトから寄せられた夢は、今後、1年をかけて本誌および日本連盟公式インスタグラム等でご紹介し、夢を抱くスカウトの希望溢れる姿を社会に発信していく予定です。

第2期募集

募集期間 **2022年1月1日(土)～3月31日(木)**

応募方法 **Step1** A4サイズの紙を横向きにして、自分の「夢」を自由に書く

Step2 夢を書いた紙を自分の胸の高さくらいで持ち、写真に撮る

Step3 撮影した写真をメールに添付して送る

応募先 日本連盟事務局広報担当 pr@scout.or.jp

応募に関する詳細は、日本連盟 Web サイトをご確認ください。

https://www.scout.or.jp/member/scout_dream-bosyu/



スカウトの夢



スカウトの歌プロジェクト

創立100周年を契機にボーイスカウト運動の良さや楽しさなどを再認識するとともに、その魅力を発信していくために、ボーイスカウトに参加する子どもたちが「どんな大人になりたいのか」「どんな社会にしていきたいのか」といった夢やメッセージを込めた「ことば」を集め、ひとつの歌にするプロジェクトを進めています。

多様性や持続可能性のある豊かな未来を目指して力強く歩んでいく私たちスカウトの定番ソングとして歌い継がれるような歌にしていきます。「スカウトの歌」は、本年春ごろの完成を予定しています。詳しくは日本連盟 Web サイトをご覧ください。



<https://www.scout.or.jp/member/scoutsong-project/>





■ 第18回日本スカウトジャンボリー（18NSJ）大会情報

いよいよ今夏、18NSJを開催します。今号は、大会ロゴマークや外国派遣団の情報のほか、大会 Web サイト等の情報についてご紹介します。

【テーマ】「100⁺f ~自分のfを探せ~」

【会場】ALL OVER JAPAN

2022年の夏休み期間、サテライト会場や全国各地のキャンプにより分散開催します。

🌀 大会ロゴマーク

100周年記念の特別な大会として日本中で開催されるよう、古来、日本の祝い事に使われてきた赤・白・金の3色で表現し、その中に「第18回」と「100周年」を表す数字と、テーマである「F」を組み込んでいます。

次の100周年に無限の可能性を見据えた「無限大（インフィニティ）」をデザインに入れ、さまざまなものへの繋がりを表す六角形としました。また、文字内の「ALL OVER JAPAN」の「O」は日本中との「コネクト」を表現しています。



🌀 外国スカウトの受け入れについて

今回の大会は分散開催であるため、日本連盟としての外国連盟への公募は行いません。ただし、県連盟・地区・団等で友好関係がある外国隊を招待する場合は、事業実施6か月前までに「外国スカウト受入計画」を申請し、分散開催地で受け入れます（入国から帰国までを申請者が対応）。

🌀 情報の発信方法について

18NSJ公式サイトを公開しています。公式サイトには、大会参加に向けた準備に必要な情報を発信（2か月に1度のペース）する「ジャンボリーインフォメーション」をはじめ、大会に関する最新情報を掲載していきます。

また、18NSJは分散開催ですが、ICTを活用して「つながる」ジャンボリーを目指します。大会情報の提供のほか、全国各地の参加者をつなぐためにスマートフォンアプリを活用します。公式サイト同様にさまざまな情報を取得できるほか、各 SNS へのリンクやデジタルマップなど、アプリならではの機能がついています。現在開発中ですので、公開をご期待ください。



各種情報は18NSJ公式サイトをご覧ください。

<https://18nsj.scout.or.jp/>



新春のご挨拶 これからの100年も

日本連盟 総裁
御手洗 富士夫

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

今年こそは、人類社会が、およそ100年ぶりに世界を襲ったパンデミックを克服し、新しいスタイルでの社会経済活動を活発化させる年に、ぜひ生きていきたいと希望します。

1980年代以降、経済のグローバル化が進み、世界の多くの人々に豊かな暮らしをもたらしました。一方で、21世紀に入り、行き過ぎた株主至上主義などによる弊害もみられるようになりました。その一つが極端な経済格差の拡大、もう一つが、気候変動問題に代表される経済と地球の生態系バランスの崩れです。新型コロナウイルスの発生も、人類がこれまで立ち入らなかった領域に足を踏み入れた結果によるものといえるのかも知れません。

しかしながら、人類社会は着実に進歩を遂げています。100年前のパンデミックの際は、抗生物質も発見されておらず、患者を隔離するぐらいしか打つ手がありませんでした。それに対して、今回のパンデミックでは、世界中の研究機関や科学者の努力により、新型コロナウイルスという病原体がたちどころに突き止められ、画期的な製法によってワクチンが開発・実用化され、世界各国でワクチンの接種が進んでいます。わが国も、当初は若干の遅れをとったものの、政府と国民の努力により、

驚異的なスピードでワクチン接種が進み、今では世界最高水準の接種率を実現しています。さらに、飲み薬などの治療薬の実用化と普及により、新型コロナウイルスはいずれ通常のインフルエンザと同様に、過剰に恐れる必要がなくなることが期待されます。

ただし、新型コロナウイルスが経済活動や人々の生活にもたらした影響は、極めて甚大なものがありました。多くの国々でいわゆるロックダウンが行われ、わが国でも「ステイホーム」を余儀なくされることとなりました。多くの企業では、業務がテレワークで行われるようになり、学生は学校に行けず、友達に会えない期間が長期に及びました。ボーイスカウトの活動も、オンラインで行われるものが増えました。あらゆる組織でデジタル化が急速に進み、実際にやってみると、オンラインでさまざまな活動を行えることがわかりました。一方で、オンラインでのコミュニケーションには、リアルでの対話に比べ、人間的な温かみや、直接話し合うことによる創造性の発揮などに欠けるところがあることは、だれもが痛感していることだと思います。

今ほど、青少年が、大自然の中でチームを作って心身を鍛え、お互いの絆を深めるというスカウト活動の重要性が高まっているときはないといえます。また、経済社会のグローバル化が進んだ現在、今回のパンデミックだけで

はなく、今後人類社会を襲うであろうさまざまな災厄に対して、一国だけで立ち向かうことには限界があります。国際愛と人道主義を実践し、より良き世界を目指す (Creating a Better World) というスカウト活動の精神が、これからはますます重要になっていくことは確実です。

ボーイスカウトの活動では、ごく身近な仲間たちとの関わり合いの中から、自分が好きなことや得意なこと、仲間の役に立てることを見つけ出したり、仲間の考えなどを尊重したり、そしてお互いにチーム全体を良くしていくためにそれぞれの力をより良く合わせることを、子どもたち自身が体験しながら自然に身につけていきます。そして世界中に広がるスカウト運動の輪によって、海外の異文化の仲間と友情を築いたり、力を合わせたプロジェクトに取り組む機会も得られます。これはまさにグローバル化時代に有用な人材の素養を育むことであり、日本のスカウト運動が100年にわたって社会に貢献し続けてきた価値なのです。

ボーイスカウト日本連盟の創立100周年は、これまでこの運動を切り拓き、支えてきた諸先輩方のご尽力に感謝するとともに、これから先の100年も変わらず青少年の育成を通じて社会に貢献し続けるという私たちの意志を確かめ合う機会にできればと思います。

そのために、いま目の前にいるスカウト一人ひとりの育成に、懸命に、真摯に、そして楽しく、ともに取り組んでまいりましょう。



汗と涙と —スカウト人生—

日本連盟 総長

奥島 孝康



スカウト人生をふり返ってみると、少なくともぼく自身はこんな愉快で楽しい人生はないと思っている。とはいっても、「自然を愛し、偶然を楽しみ、悠然と生きる」という境地に達するにはまだまだというのがぼくの現在である。

汗は人を強くする

スカウトは野外生活を訓練の中心に据えることによって自らを鍛える。つまり、野外訓練により、肉体的にも精神的にも鍛えられる。そこが学校生活とは根本的に異なる。つまり「汗」を流すのである。もっとも、汗といっても冷や汗という汗があるが、ここでいう汗とは、身体から流す熱い労働の汗のことである。他者のために流す汗は、自分のために流す汗とは異なり、他者の重みを代わって背負うことを意味し、それだけ余分に力を出すことであり、それだけ強くなることを意味すると考えられる。つまり、他者の荷物を引き受けただけ余計な力を使うことになり、自分を鍛えていることになる。たしかに、外見的には他者のために力を使っているように思えるが、見方を変えれば、それだけ自分を鍛えていることになる。

余分の力を出すことのできる者が、その余分な力を出したところで、失うものはない。それどころか、余分な力を出した者は鍛えられさえる。つまり、強くなるのである。そういう意味では、他人のために働く者は、なにも

失うことがないうえに、自らが鍛えられることになる。それが強くなるということである。そういうわけで、他者のために汗を流す者は自分が強くなる、といってもよいと考えるべきであろう。

涙は人を優しくする

涙は悲しいときに流すことが多いが、感動して流すことも少なくない。ぼくたちは、青春多感なとき、つまりスカウトの年齢のころは、なんでもないことに感動して涙を流すことが少なくない。ところが、素直になれない年頃でもあって、素直に涙を流すことができないことも少なくない。その意味では、スカウト年齢の頃は、なかなかむずかしい「年頃」でもある。

情緒の不安定なスカウト年齢であるだけに、スカウトたちはある意味でむずかしい。つまり、感動を素直に表現できない場合がありうる。しかし、人生でもっとも多感なこの時期のスカウトたちの社会に対する、あるいは仲間に対する素直な思いのたけを、その行動に反映してほしい。それができれば、おそらく、スカウトたちの行動はずっと優しさに満ちたものとなるであろう。スカウトたちの社会や仲間に対する優しい心情は、きっとよく仲間や社会に伝えてくれることであろう。

人は涙によってさらに人として優しくなり、よりよい関係性を結ぶことができるに違いない。涙くらい、人の素直な感情をストレートに

伝えるものはない。涙は流すだけが涙ではない。涙はこらえることにより、もっと大粒の涙となる。年寄りとなって流す後悔の涙にならないよう、今から気持ちよく涙を流すことに努めるくらいの余裕を心がけてみよう。

そして……

汗と涙の中にスカウト活動がある

スカウトの汗と涙と……そして、ほんの少しだけの「歌声」を加えてみよう。宇和島第1隊（和霊隊）に所属していたころ、ぼくはいつも歌声の中にいた。といっても、美声にかこまれていたわけではない。むしろその逆である。しかし、居心地が良かった。いま活動の現場には歌声がない。どうしてだろうか。下手だから遠慮しているわけでもなければ、仲間を不愉快にするからというわけでもない。しかし、少々言い過ぎかもしれないが、誰も歌など唄いたがらないのである。

しかし、ぼくたちのときは、歌唱指導が班訓練の大切な一環だった。隊活動の最中において歌声のきかれないときはなかった。ぼくには、歌声のない訓練というものは信じられない。スカウトの訓練は、すべて歌声の中にあつた。それがぼくたちの日常であり、だから毎日愉快であり、楽しいということが訓練のすべてであった。

そして、スカウトはスカウトらしくなる。スカウトらしい人間となる。



2022年 新春を迎えて

日本連盟 理事長
水野 正人



あけましておめでとうございます。今年が皆様にとって良い年になることを祈念いたします。1921年、皇太子であられた後の昭和天皇が欧州を訪問され、スカウト運動の創始者ベードン-パウエル卿とご縁があったことから、翌年にボーイスカウト日本連盟が創立され、今年100周年を迎えます。多くの卓越した先達の情熱とご尽力のお陰で、私たちがこの記念すべき年を祝賀できることに心より感謝いたします。

今年は記念式典や東京を核とした分散開催形式の日本スカウトジャンボリーをはじめさまざまな記念事業も準備しています。そして今年は次の100年に向けて健全なスカウト運動を発展させるために確固たる志を共有するときでもあります。一昨年来、新型コロナウイルス感染症で停滞したスカウト運動を、感染が沈静化した今、感染防止には万全を尽くしつつ100周年を祝い、全国で活動を活性化させようではありませんか。

さて、日本連盟ではここ数年間、長中期計画と併せて「財政再建と組織改革の基本方針」に取り組み、各担当役員の皆様のご尽力で成果を上げ、財政は収支相償となり、エンタープライズ事業も健全化しました。また組織も運営系と教育系の体系でガバナンス、コンプライアンス、内部統制、リスク管理、財務・人事管理などに透明性、実効性をもたせ、ホームページで情報公開をしています。今後は高

萩スカウトフィールド等の資産をさらに有効活用するための施策を進めてまいります。またDX: デジタルトランスフォーメーションを推進し、遠方の皆さんも出席しやすいリモート会議の仕組みや、電子決済システムを導入しリモートで速やかな決済を可能にするなどの効率化も進めました。こうした技術も活用して、折に触れ広く全国の皆様のご意見を伺い、情報交換をしつつ活動に反映させる風通しの良い組織になるよう努力をしております。

スカウト運動の活性化にはスカウトの仲間づくり、すなわち加盟員拡大に成果を上げなければなりません。そのための中途退団抑止策や社会連携・広報を始め、様々な活動の現場を支援する具体的な施策を立て、県連盟、地区、団の皆様と共に力を合わせ実践してまいりますので、どうぞご協力をお願いいたします。

国際面では、特に一昨年来リモート会議の充実で頻繁なコミュニケーションが取れるようになったことも幸いし、当連盟は世界スカウト機構、アジア太平洋地域の一員として、積極的に国際活動を進めております。

昨年8月オンラインで開催された第42回世界スカウト会議には170の国と地域の連盟が集い、人類社会・生態系の持続可能な開発目標を実践するSDGsや、スカウト運動に不可欠なセーフ・フロム・ハームなど多くの議題について真剣に討議されました。その会議には

多くのキーワードが出されましたが、特に私の心に残ったのは「レジリエンス: 打たれ強い・強靱性」という言葉です。地球温暖化に起因する気候変動が今まで以上に地球に多くの災害をもたらすことを危惧し、私たちスカウトはどのようなことが起きても決して諦めず、ベストを尽くすことを示唆したのだと思いました。パトロールシステムや野外活動によるさまざまな訓練を通じて、未来を創る青少年の人間性を高め、リーダーシップを育むこのスカウト運動はすばらしいと、改めて感じています。

100周年を機にスカウト運動の創始者ベードン-パウエル卿の遺志を読み直し、気持ちを新たにしたいと思います。

「幸福を得るほんとうの道は、ほかの人に幸福を分け与えることにある。この世の中を、君が受け継いだ時より、少しでもよくするように努力し、あとの人に残すことができたなら、死ぬ時が来ても、とにかく自分は一生を無駄に過ごさず、最善をつくしたのだという満足感をもって、幸福に死ぬことができる。幸福に生き幸福に死ぬために、この考えに従って「そなえよつねに」を忘れず、大人になっても、いつもスカウトのちかいかおきてを堅く、守りたまえ。神よ、それをしようとする君たちを、お守り下さい」

「スカウティング フォア ボーイズ」B-Pの最後のメッセージより

今年がスカウト運動にとってすばらしい年になるようにどうぞご協力をお願い申し上げます。



未来に向かって 無限の価値を信じて

日本連盟コミッショナー
福嶋 正己



全国の指導者の皆さん、あけましておめでとうございます。

2022（令和4）年はボーイスカウト日本連盟創立100周年の記念の年です。1922（大正11）年に少年団日本連盟として発足してから、100歳の誕生日を迎えます。紀寿を祝うさまざまな記念行事を展開します。

まずは8月の第18回日本スカウトジャンボリーを皮切りに、100周年記念式典、記念レセプション、全国キャラバン、募金活動等が目白押しです。

スカウト運動は1908（明治41）年には日本に伝わり、全国各地でさまざまな少年団が活動しました。次第に全国的な統一組織結成の動きが起こり、ようやく1922年に少年団日本連盟が創設され、世界のスカウト運動の仲間入りしました。

その後、太平洋戦争の4年間（1941年～1945年）は、大日本青年団、大日本連合女子青年団、大日本少年団連盟（本連盟）、帝国少年団協会の4団体が国策により統合されて「大日本青少年団」と改組されました。本連盟は加盟団員と指導者はこちらに合流させましたが、その間も基本財産とボーイスカウト精神を引き継ぐために「財団法人健志会」と名称を変更して法人格を存続し、太平洋戦争中の4年間を凌ぎました。

1945（昭和20）年8月に太平洋戦争の敗戦

を迎え、1952（昭和27）年4月に「サンフランシスコ講和条約」発効。すなわち日本の主権が取り戻されるまでのおよそ7年間、日本はアメリカを中心とした連合国に占領され、その統治下にありました。しかし、終戦直後から少年団の指導者たちや日系2世のボーイスカウト出身者、GHQの民間情報教育局（CIE）の協力により、1947（昭和22）年には、制服は着ない、三指の敬礼はしない等々の条件付きで、東京で5隊、横浜で1隊が試験的にスカウト活動を開始。同年10月には全国で92隊が活動するまでになりました。

こうしてボーイスカウト再建の動きは続き、名称を「財団法人ボーイスカウト日本連盟」として、1949（昭和24）年9月24日と25日の両日、戦後初の「第1回全国大会」を皇居前広場で開催しました。24日午後には、昭和天皇ご一家がお出ましになり、日比谷公園で競技大会が行われました。その時、アメリカ連盟のスカウトから、ボーイスカウト日本連盟旗が寄贈されました。翌25日の大会最後には、戦後初めて日の丸を掲げた公式パレードとなったスカウトパレードを挙行了しました。

日本連盟旗を先頭に、参加各隊が持つ200余りの日の丸が大国旗を中にして、3,600人前後1,200メートルの大行進が日比谷から数寄屋橋、新橋、銀座、日本橋、東京駅へと続きました。沿道のビルからは紙吹雪がまかれ、拍手や万歳の声が満ちていました。

そして翌1950（昭和25）年7月1日には、ボーイスカウトの国際（世界）会議構成団体に復帰承認され、国際（世界）事務局に再登録を果たしました。

このような時代を経てボーイスカウト日本連盟は、創立100周年を迎えました。次の100年に向けては、ICTの発達により現在よりも情報の伝達はますます迅速化され、自動翻訳機の発達によって自分の母国語で世界の人人と意思疎通ができるようになり、またAIの発達で人間に代わるロボットや、空を飛ぶ自動車の出現、夢の宇宙旅行に誰でも行け、そして一部はバーチャル（仮想空間）な世の中になると考えられます。現在の夢物語が現実の世になるでしょうし、世の中の変化が激しく、さらに現在では考えられない世の中になっているでしょう。

スカウト運動が22世紀まで続いてほしいのはもちろんですが、そのときスカウトたちがどのような活動をしているのか、誰も想像がつかないでしょう。

まずは、10年先の2032年に向かって日本でのボーイスカウト運動がしっかりと発展していくことが求められます。

ボーイスカウト運動は未来に向かって無限の価値を信じて、その時代時代に合わせた運動体として、世の人創りに貢献していくことではありませんか。想像の向こう側にある新しい世の中に取り残されないう。

2022年の 主な行事

2022

2021年12月7日時点

※詳細、名称、ロゴ等は今後変更になる場合があります。



富士特別野営2021

3月26日(土)～31日(木) / 日本連盟・高萩スカウトフィールド

昨年12月に参加募集を終え、高度な野外活動を実施する予定です。

日本連盟創立100周年記念日

4月13日(水)



YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN
1922 - 2022

2022年度全国大会

5月28日(土)～29日(日) / 兵庫・アクリエ姫路、他

社会への本運動の理解を広めるとともに、加盟員の研鑽の場、日本連盟と参加者の双方からの情報交換の場として開催します。

全国展開プロジェクト

「プラゴミバスターズ大作戦」

7月～11月 / 全国

毎年9月の「スカウトの日」に支援いただいているセブン-イレブン記念財団と連携して、海洋問題の一つであるプラスチックごみの問題を他人ごとにはせず、地域清掃をベースに資源循環サイクルを意識できるような取り組みを実施する予定です。

富士特別野営2022

8月14日(日)～20日(土) / 滋賀・琵琶湖畔 高島トレイル

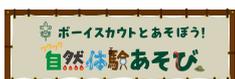
スカウト運動の基本である野外活動(野営)を通じて、その重要性を確認し、班制教育を通じた「教わること」「学ぶこと」の再確認や、試練を乗り越える体験の中で、信頼や絆の大切さに気づき、友情を育み、スカウトスピリッツ(徳性、忍耐力、気力、清貧)を実践することを目的に開催します。

将来を担うベンチャースカウトの活動活性化を目指し、多くのスカウトが参加できるよう、今後は毎年の開催を予定しています。2022年は、西日本で開催とします。

ワクワク自然体験あそび

通年 / 全国

コロナ禍のなかにあっても、子どもたちが自然の中で安心して遊べる機会を提供することを目的として、2020年に文部科学省委託事業として展開し、2021年には日本連盟事業として多くの子どもたちが参加しました。本年も全国各地の団の協力のもと、継続して実施する予定です。



1月

2021年度富士スカウト代表表敬

3月下旬 / 東京(日程・場所ともに予定)

日本連盟創立60周年記念事業として実施してから継続している本事業は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮しながら、準備を進めています。今回も首相官邸のほか、文部科学省等への表敬を予定しています。

2月

3月

難民支援衣料回収プロジェクト2022

春3～5月・秋9～10月(予定) / 全国

世界の難民のうち、半数以上が18歳未満の子どもたちです。スカウトと同年代の子どもたちのため、株式会社ユニクロと連携し、本年も難民支援のための衣料回収プロジェクトを実施予定です。衣料の回収にご協力ください。



4月

5月

全国防災キャラバン2022

調整中 / 全国

「そなえよつねに」の精神で、防災について考える機会を一般の方々に提供することを目的として、全国のイオンモール等で「全国防災キャラバン」を実施する予定です。



6月

7月

第18回

日本スカウトジャンボリー

夏休み期間 / 分散開催

関連ページ P.5



8月

スカウトの日

9月19日(月・祝) / 全国



毎年9月の第3月曜日は「スカウトの日」。全国各地域において、地域社会への奉仕をはじめとしたさまざまな活動を一齐に展開し、スカウト運動が地域社会に根ざした実践活動であることを広く社会にアピールします。

9月

10月

100周年記念式典

秋頃 / 明治神宮会館 関連ページ P.2

100周年を記念して、全国で実施する記念事業のひとつとして、スカウトや指導者を含めた県連盟代表者が参加する式典を開催する予定です。

11月

12月

ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA) / ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)

世界スカウト機構主催事業 関連ページ P.14、15

10月14日(金)～16日(日) / 全世界

世界スカウト機構(WOSM)が主催する公式国際行事です。アマチュア無線やインターネットを活用し、国内外のスカウト仲間と交流することを目的に、毎年10月の第3金曜日から3日間(72時間)で開催されます。



2023

企業や団体とのタイアップによるコラボレーションバッジ

カブスカウト対象 “新チャレンジ章”



和歌山・橋本第2団

2018年から取り組みを開始したカブスカウト対象「新チャレンジ章」は、これまでに延べ3,100隊37,000人のスカウトが取り組んでいます。

今号では、2021年度新たに展開したプログラムの展開例と、それに挑戦したスカウトの声、2022年度の募集スケジュールについてご紹介します。



サイバー セキュリティヒーロー

仮想（デジタル）と現実（リアル）が混ざり合う、今の子どもたちが主役となる社会がやってきます。インターネットには楽しさや便利さもあれば、危険なことや守らないといけないことを理解することが重要です。世界中の子どもたちに「ネットリテラシー」を学ぶためのプログラムを提供するパロアルトネットワークス社とともに、これからの社会を生きるために必要な術を体験しましょう。

展開例

1. ハンドアウトを用いて（岐阜・岐阜第16団）

ハンドアウトにあるトランプを使ったパスワードのクイズでは、簡単なパスワードでは情報を守りきれないことを学び、ハンドアウトのアクティビティ2では考え方や感じ方は人それぞれ違うため、SNSでも相手を思いやる気持ちが大切なことを学びました。最後に、インターネットの便利な点、危ない点を話し合い発表してスカウトたちはサイバーセキュリティヒーロー宣言。しっかり勉強したスカウトたちは、カッコ良いヒーローになりました。

2. 講師を招いて（福岡・福岡第19団）

Web集会后に取り組みました。警察官である保護者を講師に迎えて、「ネットとはなにか?」という基本情報からはじまり、ネットによる被害、怖いお話などを聞きました。また、10年後の未来になくなっているものとして「重たいもの」や「キーボード」など色々な意見が出ました。「君たちの頭の中にある、あったらいいなと思うことは、君たちがつくっていくんだよ」と、講師がまとめてくれました。

ネットは怖いけれど正しく使えば大変便利で、なくてはならないもの。怖さを知っているからこそ対策ができることを知りました。親子で取り組むことができる内容でした。

スカウトの声

- ネットでのコミュニケーションをとるときにも、他の人を傷つけないようにようにする。
- 人の嫌がることはしない。嫌がる言葉を使わない。
- パスワードは、自分ですぐに思い出すことができ、わかりにくいものにする。
- ゲームでも世界とつながるので気をつける。
- 勝手に友だちの写真を使わない。

2022年度に向けたスケジュール

現在、新たなプログラムの準備を進めています。これまで展開してきたプログラムも含めて、詳細は日本連盟 Web サイトに情報を掲載しています。この新チャレンジ章の取り組みも交えながら、2022年度もスカウトに新たな挑戦の機会を提供しましょう。

バッジ申込 2月14日(月)～3月13日(日)
申込結果通知 3月22日(火)～3月24日(木)
バッジ送付 4月下旬から順次発送

2021年度に新チャレンジ章に取り組んだ皆さまに、活動報告をお願いしています。Webフォームから簡単に行えますので、年度内に取り組みを終えてフォームからご報告ください。

2022年度も同プログラムの実施を予定しています。詳しくは日本連盟 Web サイトおよび機関誌3月号でご案内します。

<https://www.scout.or.jp/member/challenge-badge/>

2022(令和4)年度 国際交流事業計画

2021年12月13日現在

2022(令和4)年度に予定している派遣事業をご紹介します。

※年度途中に新たな事業が増えたり、予定している事業が中止や変更になる場合があります。最新情報は日本連盟 Web サイトにて更新しますのでご確認ください。

公募により実施する海外派遣事業

| No. | 事業名 ※印は海外派遣貸付金対象事業 | 派遣予定期間(大会期間) 派遣先(主な訪問国) 派遣予定人員 | 派遣の概要 | 募集対象 | | | | 日連推薦 締切予定日 | |
|-----|-----------------------|--------------------------------------|-------|------|----|----|---|---------------|--|
| | | | | BS | VS | RS | L | | |

BS…ボーイスカウト VS…ベンチャースカウト RS…ローバースカウト L…指導者

■ 個人による海外派遣

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|--|---|---|------------------|-----|------------------|
| 1 | 2022年度 カンダーシュテーク 夏季野営スタッフ派遣 ※ | 派遣期間 6/5～9/2(3か月) スイス/カンダーシュテーク国際スカウトセンター 若干名 | カンダーシュテーク国際スカウトセンターにおいて、夏季野営スタッフとして奉仕する | | ○ | ○ | (19歳以上 35歳未満) | 締切済 | 自全 己負 担額 |
| 2 | 2022年度 スカウト特別海外派遣 (霞会館補助事業) | 個人プロジェクトによる 個人プロジェクトによる 最大2人 | 個人プロジェクトによる | | ○ | ○ | ○ | 4/5 | 補 会 助 館 |
| 3 | 2022年度 スカウト・オーストラリア 短期留学(学習旅行)派遣 [実施調整中] | 例: 7/22～8/29(夏休み期間) オーストラリア(メルボルン、シドニー、パース、キャンベラ、ブリスベン等) 1～2人 | オーストラリアの高校に短期留学(学習旅行)し、スカウト活動に参加する | | ○ | | | 4/5 | 自全 己負 担額 |

● 例年実施していたアメリカ連盟の国際キャンプスタッフ計画派遣は、2020年度で事業が終了しました。

■ グループによる海外派遣

| | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|---|-----|---|----|----------------|
| 1 | 第15回韓国ジャンボリー (25WSJ プレ大会) 派遣 | 8/1～8/8(8/2～8/7) 韓国/全羅北道セマングム(25WSJ会場) スカウト8人、指導者2人 計10人 | 25WSJ(2023年8月開催)のプレ大会として開催される韓国ジャンボリーに参加する | ○ | ○ | | ○ | 未定 | 自全 己負 担額 |
| 2 | 第32回アジア太平洋地域 スカウトジャンボリー (バングラデシュ) 派遣 | 12/10～12/21(12/11～19) バングラデシュ東南部/コックスバザール スカウト9人、指導者1人 計10人 | 1年延期されたAPRスカウトジャンボリーに参加する | | ○ | IST | ○ | 未定 | 自全 己負 担額 |

● 2022年7月に開催予定だった第16回世界スカウトムート(アイルランド)は開催中止になりました。

● 2022年7月に予定していたアメリカジャンボリーは2023年7月に延期になりました。

● 例年夏に県連盟の計画により実施するフィルモント派遣は、すでに2022年度の受付が締め切られています。

● 例年8月に実施している韓日スカウトフォーラム派遣は2024年度に再開する予定です。

日本連盟主催外国スカウト受入事業

| No. | 名称 | 期間 | 内容・招へい国 | 対象 | 備考 |
|-----|--|------------------------|--|------------|--|
| 1 | 2022年度 CJKベンチャープロジェクト 日本開催 | 3か国連盟で調整中 (8月実施見込み) | 台湾、日本、韓国のベンチャースカウトを対象としたプロジェクトで、2022年度は日本で開催予定 | 高校生年代のスカウト | 台湾、日本、韓国からベンチャースカウト各9人、指導者各1人、合計30人で実施予定(日本参加者は公募) |
| 2 | 2022年度オーストラリア 短期交換留学スカウト受入 [実施調整中] | 11月下旬 ～2023年1月下旬 | オーストラリア連盟からスカウトを受け入れる。日本の高校に短期留学をし、スカウト活動に参加する | 高校生年代のスカウト | オーストラリアからベンチャースカウト1～2人(日本のホスト家庭は県連盟を通じて依頼) |

● 例年1月に実施している日韓スカウト交歓計画の再開は2023年度(2024年1月)に予定しています。

日本で開催する国際会議

| No. | 名称 | 期間 | 内容・招へい国 | 対象 | 備考 |
|-----|---------------------------------|-----------|---|----------------------------|---|
| 1 | 2022年度 CJK首脳会議 (全国大会への招聘) | 5/27～5/29 | 兵庫県姫路市で開催する全国大会にあわせて台湾、日本、韓国の3か国連盟首脳会議を行う | 台湾、日本、韓国の3か国連盟の主要役員 | 台湾、韓国の各国連盟主要役員を招聘し、全国大会の開催にあわせてCJK3か国連盟の首脳会議を開催予定 |
| 2 | 2022年度 CJK事務局長会議 | 11月(調整中) | 台湾、日本、韓国の3か国連盟事務局長による会議で、2022年度は日本で開催する | 台湾、日本、韓国の3か国連盟の事務局長および関係職員 | 台湾、日本、韓国の3か国連盟事務局長による会議で毎年持ち回りで開催 |

海外のスカウトとの交流に向けて「スカウト特別海外派遣」

富士スカウト章を取得したスカウトが、社会性のあるテーマのプロジェクトを独自に企画し、テーマにそって定めた国でプロジェクトを実施するものです。富士スカウト章を取得してから3年間の限られた期間にのみ応募することができ、派遣費用の一部は、社団法人霞会館から支援を受けることができます。スカウト自身が実施したい取り組みを応援する仕組みです。近い将来、海外でのプロジェクトや交流を行いたいと考えているスカウトは、今できることとして進歩に取り組みましよう。

世界とつながるプログラム

JOTA-JOTI 2021



ジャンボリー・オン・ジ・エア2021 (JOTA2021)
ジャンボリー・オン・ジ・インターネット2021 (JOTI2021)

日時：2021年10月15日(金) 0:00 ~ 17日(日) 24:00

場所：日本および世界各地



大阪・大阪第70団

JOTA-JOTI は、世界スカウト機構 (WSOM) 主催の公式国際行事として毎年行われる、アマチュア無線やインターネットを活用した国内外のスカウト仲間との交流を目的としたイベントです。日本では前年(2020年)を40件上回る26県連盟191のグループや個人から事前参加申請があり、19県連盟から93の実施報告が届きました。

今年は、日本連盟として JOTI プログラムの体験ができる会場や、アマチュア無線の免許を持たないスカウトも無線やり取りに挑戦できる体験局を全国複数会場で運営しました。スカウティングならではの国際性のあふれるプログラムをご紹介します。

JOTA 体験会

(10月15日~17日/アマチュア無線体験局の運営/東京・愛知・大阪での3会場)

1日最大6グループ(10~15人)をベースに、モールス体験、無線技術の事前学習、アマチュア無線体験をローテーションで体験するパッケージとして展開。新型コロナウイルス感染防止の観点から、会場ごとに加盟員を対象に参加者を募り、アマチュア無線免許を持たないスカウトが国内外の人と繋がる喜びやアマチュア無線技術を楽しみながら学ぶ機会として、2020年に実施した東京会場に愛知と大阪を加え、3会場同時にプログラムを実施しました。

国内の個人局や社団局との交信が多いものの、事前告知によって全国のボーイスカウト社団局との交信も積極的に行われ、短いながらも海外との交信を体験することもできました(東京-スウェーデン、愛知-アメリカ、韓国、大阪-南極昭和基地との交信を実施)。さらに、過去に参加した近隣県連盟のボーイ隊以上のスカウトが奉仕者として関わり、参加スカウトだけでなく、奉仕したスカウトも与えられた責務達成のために真剣に取り組みました。

また、今回もアイコム(株)から3会場に体験局用の無線機を貸与いただくなど、団体および企業から資材や資料の協力、近隣無線クラブからはプログラム指導への人員協力があり、各会場で共通プログラムを展開することができました。

参加者 313人(東京160人、愛知24人、大阪129人)

スカウトや指導者の声

- 直前までつながるのか分からないことと、つながったとしてもこの誰と交信できるのか分からない中で、知らないスカウトと無線を通じて話すことにとってもワクワクした。
- 電話とは違ういろんなルールがある中で、国内のスカウトと気軽に交信できることに驚いた。世界の人と外国語で交信が始まったときはもっと驚いた。
- 通信手段として手旗もやっているけれど、モールス信号をゲームや自己紹介で使ったり、交信そのものもオンラインゲームのように楽しめたりすると、スカウト同士でもっと楽しめると思う。
- モールス信号はスカウトハンドブックに記載があるという認識程度で、具体的な指導には結びついていなかった。どれだけ伸ばすのか、どのタイミングで打つのかなど、注意する点をスカウトと共に学ぶことができた。
- 昨年体験会に参加したあとでアマチュア無線の免許を取得したスカウトがあり、そのスカウトが後輩スカウトに教えたり、堂々と交信している姿は頼もしいと感じました。



JOTA 体験会(大阪会場)

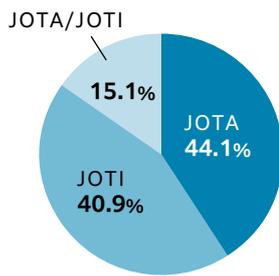


JOTA 体験会(愛知会場)

協力 一般社団法人日本アマチュア無線連盟 (JARL)
一般財団法人日本アマチュア無線振興協会 (JARJ)
アイコム株式会社
アツデン株式会社
日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ

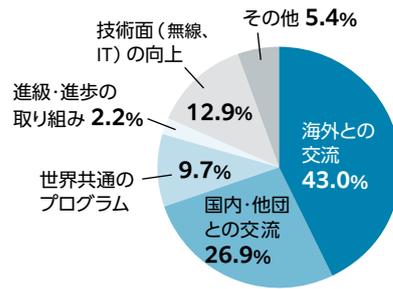
データでみる JOTA-JOTI 2021

■ 参加形態



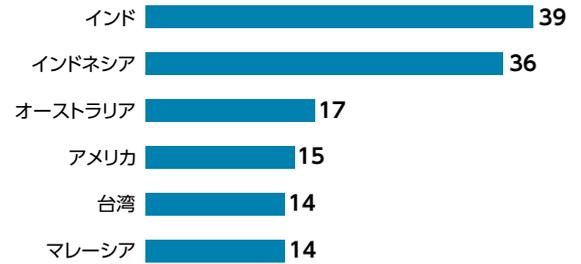
※ 昨年と比べて JOTA の参加報告の割合が増加しています。

■ 参加目的・理由



※ 選択課目へとつながる無線や IT といった技術面の要素が、一定数あることが分かりました。

■ アクセス数上位国



※ 交信のしやすさなどから、上位国にはほぼ変動はありませんでした。

JOTI 事前体験会

(9月12日午前・午後の2回/日本語での本番プログラム体験/オンライン開催)

インターネット会議システムの浸透が急速に進む中で、日本から JOTI の参加者を増やすため、国内のスカウト仲間とインターネットを通じて交信したり、JOTA-JOTI 2021 で提供されるプログラムを体験したりする事前体験会を実施。

海外のスカウトや指導者 (今回は韓国、マレーシア、ドイツの3カ国) との音声チャット、動画配信やゲストとのトークを交えたライブ配信プログラムを体験したほか、日本独自のプログラムとしてバーチャルで国内スカウトとの会話や外国語会話バッジの取得面談を行い、JOTI プログラムの幅広い内容を肌で感じる機会を提供しました。

音声チャットや文字チャットプログラムでは、参加者同士がスムーズかつ安心してコミュニケーションできるように外国語対応者が支援したほか、国内の団同士で会話することでコミュニケーションに慣れてから外国スカウトとの音声チャットを体験するなどの工夫をしたグループも多くありました。

スカウトが恥ずかしがってしまうときには、まずはコミュニケーション。会話に慣れるところからスタートすることで、スカウトの気持ちも高まります。



スカウトや指導者の声

- Skypeを利用したビデオ会話を中心に参加しました。日本のことを知らない外国スカウトのために、絵や写真、英語で書いた名前の札や質問を準備しておくことで会話が弾みました。
- ビデオ会話の場合、国内外の団いづれも事前の調整は非常に大変。参加当日に飛び込みで交信を申し込んだり受けたりとする方が話やすく、スカウトも盛り上がっていました。
- スカウトが自宅からそれぞれ参加しましたが、指導者間でLINEをメインに相談や準備を進めたおかげで、スムーズに活動を行うことができました。
- 英語が得意な方に頼りすぎてしまった部分があった。質問リストのほか、みんなで「ゆっくり話してください」といった定型文を練習するなどの英語対策をしておいた方が良かったと感じた。
- 日本を紹介する情報として、アニメやマンガは世界共通のツールであることを再認識しました。そのほか、食べ物や着物、富士山や侍など日本を象徴するものも人気コンテンツでした。

参加申請 562人 (13県連盟 88のグループおよび個人)



兵庫・神戸第60団



兵庫・尼崎第26団

協力 国際活動サービスチーム (STIA)

日本連盟Webサイト

<https://www.scout.or.jp/member/jota-joti/>

■ 野外活動のための安心・安全講座

え！いけないの？「お薬あるある」NG 事例

活動中に具合が悪くなってしまったスカウトを、なんとか元気にしてあげたい。そんな優しい気持ちが、かえって副作用を引き起こすことになってしまう場合もあります。前号に続き、今号も「救急箱」をテーマに、薬に関する事例をもとに対応を考えてみましょう。

| 救 急 箱 | | | |
|-------|---|--|---|
| + | | | |
| | NG 事例 | NG 理由 | 対応例 |
| 事例 1 | スキーの後、スカウトが「ふくらはぎが痛い」と言いに来た。指導者自身が整形外科でもらっている湿布を貼ってあげた。 | 医師から処方される薬は、医師がその人の症状に適切であると判断して選んでいます。自分と似た症状だからとか、たかが湿布と安易に考えてはいけません。湿布にも副作用が起こる可能性があります。 | 冷やす必要がある場合は、氷嚢や冷却シートを用います。腫れや痛みが著しい場合は、医療機関を受診します。 |
| 事例 2 | 「生理痛でお腹が痛い」と、お腹を抱えて座り込むスカウトに、指導者が持参した生理痛の薬（解熱鎮痛薬）を飲ませた。 | 市販の解熱鎮痛薬には、眠気やふらつきをおこす成分を含むものがあります。喘息発作や胃痛などの副作用が起きる場合もありますので、本人が飲み慣れているもの以外は、飲ませるべきではありません。 | 静かなところで休ませます。必要な薬は、各自飲み慣れたものを用意するよう、日ごろから保護者に伝えておきましょう。 |
| 事例 3 | 「目にゴミが入った」と目をごすスカウトに、指導者が持参した花粉症の目薬を点眼した。 | 目薬の先端にまつ毛などが触れることにより、目薬そのものが菌に汚染されてしまうことがあります。他人の目薬を使うことで、目の病気がうつることもありますので、絶対に共有しないでください。 | 流水で洗います。異物感がなくならない場合は、眼科を受診します。 |
| 事例 4 | 「虫に刺されてかゆい」と訴えてきたスカウトに、指導者が以前皮膚科でもらった、よく効く塗り薬を塗ってあげた。 | 皮膚科でもらう塗り薬は、非常に強い効果のあるものからマイルドなものまでさまざまです。皮膚の状態も個人差があり、年齢や部位によっても薬の効き具合が異なります。専門家の判断なく、適当に塗ってはいけません。 | 冷やすことでも痒みはやわらぎます。著しく腫れたり、痛んだり、広範囲な場合は、皮膚科を受診します。虫よけ剤や虫刺されの薬は、各自用意します。 |

薬には〈主作用：病気が治る・症状が軽くなる〉と〈副作用：本来の目的以外の好ましくない症状が出る〉という2つの面があります。特に副作用は、人によって表れ方が全く異なるため、自分にとっては苦痛を取り除いてくれる良い薬でも、別の人にとっては副作用を引き起こす怖い薬である場合もあるのです。安心・安全な活動のために、『薬は各自で用意する』ということを浸透させていきましょう。

ボーイスカウトPRムービーコンテスト2021 入選作品発表!!

5回目の開催を迎えた「ボーイスカウトPRムービーコンテスト」。今号では、全国から集まった作品の中から「最優秀」「優秀」「スポンサー賞」を発表いたします。今回も審査委員長として、俳優で現役のボーイスカウト指導者でもある金田賢一さんに「最優秀」と「優秀」を決めていただきました。また、本コンテストをサポートしてくださっている各社の企業賞とコメントもご紹介いたします。



これからボーイスカウトに出会う人へ...

山梨・甲府第6団 保護者
姫嶋 真基子

ボーイスカウトのことを何も知らない方に向けて、息子が体験から入団、今に至るまでの3年間を動画にしてみました。少しでも素晴らしさが伝わったら嬉しいです。

👍 **Good!!** 子どもの成長は保護者にとって何より喜ばしいことです。指導者にとっても代えがたい糧となります。ぜひ進んで、カブスカウトになった姿を見たいです。



Scout Rap - MC Naohiro

埼玉・東松山第1団
ローバースカウト
加島 潤

ボーイスカウトを少しでも多くの人に知ってもらうべく、新たな試みとしてボーイスカウトのラップMVを制作しました。ボーイスカウトを知らない方、経験者の方の両方に楽しんでもらえる動画を目指しました。真面目そうなスカウトがイカしたラップをするという面白い画が撮れたと思います。

👍 **Good!!** ローバースカウトならではの作品だと思いますが、何より彼自身のスカウティングが充実していることを感じられる点が良かったです。



はじめてのたきび

愛知・日進第1団
カブ隊副長
中川 まゆみ



Sounds of Camping

埼玉・さいたま第8団
ベンチャースカウト
吉成 竜之助



カブ隊 活動紹介ムービー!

東京・三鷹第2団
カブ隊隊長
高野 朝日



川をもっときれいに!!

東京・北第11団
ビーバー隊長
近藤 秋子

スポンサー賞

今回のムービーコンテストを応援してくださったスポンサー企業4社がそれぞれ選定して下さった作品をご紹介します。



空き缶と牛乳パックでごはんを炊こう!

東京・小平第1団 ボーイ隊副長
高久 秀之

ゴ-ゴ-カレー賞

こんな方法でお米が炊けるのだとビックリしました!! この方法があれば、どこでもゴ-ゴ-カレーが食べられますね!

ビクトリノックスジャパン賞

自然災害に備えて、日ごろから訓練するという事はとても大事なことだと思います。

賞品として贈らせていただく「フィールドマスター」も、日ごろから使い方を練習してマスターしておけば、災害時に様々なことに対応できます。空き缶と牛乳パックでごはんを炊くときにもまさに役に立ちます。



Can Scouting be cool and cute?

埼玉・東松山第1団 ローバースカウト
大澤 礼奈

エイワのマシュマロ賞

アウトドアでスイーツ作りにチャレンジしている様子に共感しました! 野外飯は、食事だけでなくデザートも楽しみたいですね。

これからも取り組んでいただけたらと思います。



Road to スーパーカブ

大阪・枚方第9団
カブ隊2組 スカウト一同

グリコ賞

多くのメンバーが協力して参加しており、オリンピックの記号、表記を意識した内容の動画はグリコ賞にふさわしいと思いました。



総評 全体として楽しく拝見しました。どれも力作で、甲乙つけ難く悩ましいことでした。制約のある中、工夫して活動を続けているのが感じられます。撮影方法も年々上達が見られます。これで終わりではなく、より良い次回作ができるよう知恵を絞っていただければと思います。金田 賢一

みなさん、ご応募ありがとうございます。活動の現場において、オリジナルな表現や動作が垣間見られることがあります。

このコンテストにおいては「映像作品としての評価」に重きをおいて審査しましたことを申し添えます。ぜひ、これからも「映像で共有する喜び」を活動の中に盛り込んでいただければと思います。

すべての入選作品は、日本連盟ホームページ(および日本連盟のYouTubeチャンネル)からご覧いただけます。

<https://www.scout.or.jp/member/prmc2021/>



社会連携・広報委員会

教えて先輩！

— 進歩に関する特別措置における取り組み事例 —

本誌では、コロナ禍によりスカウト活動への支障がある中でも、進歩に関する特別措置を活用しながら、個人の進歩に向けて取り組んでいるスカウトを紹介してきました。

今号では、活動自粛期間中とその後の期間をうまく使い分けて活動してきたスカウトをご紹介します。

1. 自己紹介(自身のスカウトの取り組みや学業への取り組みについて教えてください)

高橋 理子(たかはしりこ)さん

岡山・西大寺第1団ローバースカウト・くらしき作陽大学子ども教育学部1年生

今回の進級への取り組みを経て、自分には実践力があることに気がつきました。私は元々やるべきことにうまく優先順位をつけられず、すぐ行動に移すことが苦手だったのですが、今回の進級に向けた活動においては、やると決めたことに最後まできちんと取り組むことができました。

スカウト活動以外では、小学校教諭と特別支援学校教諭の免許を取得するために勉強する傍ら、放課後児童クラブの先生をしています。

2. コロナ禍で出てきた課題をいかにして切り抜けたのか教えてください

ベンチャー隊に上進してから、県連盟の集会や日本スカウトジャンボリーに参加したことで県内外のスカウトとの繋がりができ、全国にスカウト仲間がいるというボーイスカウトならではの楽しさに気づくことができました。もっと多くのスカウトに出会いたいと思い、より積極的に集会に参加するようになりました。

コロナ禍になり、単独キャンプの実施場所を探していた最中で緊急事態宣言が出てしまい、キャンプ場が利用できなくなってしまいました。日ごろから学校の中でもスカウト活動の話をしてきたため、高校時代の友達のツテで寺院の境内をお借りし、そこをベースにキャンプをすることができました。日ごろのスカウト仲間や学校の友達との交流が、自分の活動を助けてくれていると感じました。

3. この期間で得たことや成長したこと、今後やりたいことを教えてください

2020年の全国スカウトフォーラムに、岡山連盟の代表として参加させてもらい、全国のスカウトから多くの刺激をもらいました。事後に県連盟で行ったアフターフォーラムでは、県内のゴミ問題について県内のスカウトで取り組むことになりました。その中で、河川に影響を与える自然物や人工物のゴミがこんなにもあるのか、ということが自分自身の関心に繋がりと、個人プロジェクトで取り組みたいと思うようになりました。



活動エリアが水辺に恵まれていたこともあり、カヌーを使って目的地まで行くことをひとつの目的としていましたが、近年の大雨や多くのゴミによって河川でカヌーを使った活動をするのに制限があると分かったことと、度重なる活動自粛により、プロジェクトの計画も変更を余儀なくされました。それでも活動を続けることができたのは、全国や県連盟のフォーラムで出会った仲間との約束や、指導を続けてくれている指導者の支えと励ましがあったからだと思います。



「自粛期間中でもできることはきっとある」、そう自分に言い聞かせて、ゴミが堆積しているエリアを自分の足で確認して回り、カヌーの利用が再開されてからは活動範囲を拡げ、自分だけでなく後輩スカウトも楽しくカヌーなどの水辺のプログラムに挑戦できるように、水辺のゴミ回収や回収できない大型の漂流物の堆積場所の調査などを行い、形を変えながらもプロジェクトを完遂することができました。

私はガールスカウトでの活動期間があり、ベンチャー隊には2級スカウトで上進しました。そのため、はじめは富士スカウト章を目指そうと思っていませんでした。活動に積極的に取り組むうちに、自分の周りの人は自分が思っている以上に応援をしてくれているということが分かりました。ベンチャースカウトの皆さんの周りにも、応援してくれている人がたくさんいます。自分で限界を決めるのではなく、何事にも積極的に挑戦していきましょう。



プログラム委員会

スカウティングと信仰

—信仰奨励 おうちスカウティングのススメ—

「ちかい」と「おきて」の実践は、制服を着ているときは比較的取り組みやすいものですが、普段の生活のなかでの実践は、難しいと考えるスカウトが多いのではないのでしょうか。

それぞれの教宗派にも、生活の中で大切にすべき目標やきまり、「おしえ」というものがあります。お寺や教会へ毎日お参りされるような熱心な信者さんでも、「おしえの実践はなかなかできない」と考えているようです。

なかなかできないからこそ「おしえ」の値打ちがあるのだと思いますが、「できた」「できない」ということも大切ですが、たとえできなくても継続して実践に取り組むことが大切

なことだと思えます。これを地道に続けていくと、やがて習慣となり、気がつけば「おしえ」が身について、「徳」をいただけるのだと思います。

その徳を養うために、団や隊でチェックシートを作成し「信仰奨励 おうちスカウティング」を習慣づけてみてはいかがでしょうか？ 隊長の指導と評価のもと、期間を定めて取り組み、チェックシートに記録することで、自分ができるしていない部分が発見できます。一度限りの取り組みではなく、定期的に取り組む支援をすることで、その成果が必ず現れてくると思えます。

※ 下記チェックシートは、宗教章の取得を目指すスカウトを想定した内容になっています。「感謝」を中心に、「習慣」「自己鍛錬」「祈り」といったポイントを網羅しています。スカウトや指導者の宗派や環境、地域性を考慮してアレンジしてください。

お正月のひみつ

信仰奨励委員会 森定 信吉

あけましておめでとうございます。お正月は、仕事も学校も休みになり、お雑煮やお屠蘇^{とろす}がいただけたり、お年玉がもらえたりと、とても楽しみな行事ですが、そもそもお正月は何のためにあり、起源は何なのか知っている人は、案外少ないのではないのでしょうか。

本来、お正月は、「歳神^{としがみ}」という神さまを各家へお迎えし、おもてなしし、お送りする一連の行事なのです。

歳神様は、毎年正月になると山の上から各家に降りてこられ、1年間幸せに豊かに暮らせるように守ってくださる神様とされています。

お餅つき、門松や正月飾り、初詣、鏡開き、お雑煮、お年玉、どんど焼きなど、すべて歳神さまに関連する行事なのですが、お正月を神様の行事としてではなく、のんびり過ごす休暇としか考えない人が多くなっているようです。

例えば、正月にお供える鏡餅には、歳神さまが宿られるとされており、そのお餅を食べて、歳神さまのおかけを授かり、今年1年を健康で幸せに暮らせるよう守っていただくという意味があります。お年玉も、元々は餅玉であったのが、いつしかお金に変わってきたそうです。

また、歳神さまは尖ったものがお好きだそうで、松葉や竹を目当てに降りてこられるそうです。もし歳神さまがこられなかったらお年玉がいただけなくなりまますから、年末の正月飾りの準備はしっかりせねばなりません。

このように、お正月や地域に伝わる年中行事は、人、神仏、自然が関係する実に雄大でドラマチックな神(仏)事なのです。クリスマスも神さまの行事ですから、おたのしみ会で終わらせるのはもったいないと思います。

以前のスカウティング誌で提案されましたが、古来の年中行事を集会プログラムに積極的に取り入れ、その行事のいわれをスカウトと共有することで、スカウトの情操を育む、大変有効な信仰奨励プログラムになると思えます。

「信仰奨励 おうちスカウティング」チェックシート

期間：令和 年 月 日()～ 日() 氏名：

- ◆ 自宅で取り組むプログラムです。取り組みの前と後に、チェックシートを隊長へ提出しましょう。
- ◆ できそうな項目だけでもかまいません。継続して取り組むことが大切です。
- ◆ 内容は、家庭の条件で自分なりにアレンジしてかまいません(下記の項目は、一例です)。

項目 → 取り組み内容の例

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| ① 目が覚めたことに感謝 → 今日命にお礼。寝具にお礼 | ⑥ トイレに感謝 → トイレ掃除、履き物を揃える |
| ② 神や仏に拝礼 → 神仏・太陽に手を合わす 礼拝施設に参拝 | ⑦ 人や社会に感謝 → 笑顔で「おはよう」「ありがとう」 |
| ③ 家や土地に感謝 → 家や道路、公共の場の掃除 | ⑧ 自己鍛錬 → 悪口を言わない。腹が立ったら 6秒待つ |
| ④ 水、空気、火に感謝 → 水道、ガス、電気を節約する | ⑨ 今日一日に感謝 → お世話になった人や物に感謝 |
| ⑤ 食物や命に感謝 → いただきます。ごちそうさま | ⑩ 他の人や世界の幸福を祈る → コロナ終息や世界平和を願う |

| 書きこむ できなかつたら 50%できたら 80%できたら 記録の方法 △ ○ | 取り組み内容 | | | | | | | | | |
|--|------------|--------|---------|-----------|---------|--------|---------|------|---------|--------------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 日記 | 目が覚めたことに感謝 | 神や仏に拝礼 | 家や土地に感謝 | 水、空気、火に感謝 | 食物や命に感謝 | トイレに感謝 | 人や社会に感謝 | 自己鍛錬 | 今日一日に感謝 | 他の人や世界の幸福を祈る |
| 1日 | | | | | | | | | | |
| 2日 | | | | | | | | | | |
| 3日 | | | | | | | | | | |
| 30(31)日 | | | | | | | | | | |
| ○印計 | | | | | | | | | | |
| △印計 | | | | | | | | | | |
| ×印計 | | | | | | | | | | |

岐阜 ◆ 他人の人生を変える力

岐阜第17団 ローバースカウト 坂本 聖弥

スカウト活動を終えて帰宅すると、近所の山の上空に数機のヘリが飛んでいることに違和感を覚え、急ぎ SNS で調べてみると「百々ヶ峰で6歳男児行方不明」という記事があった。行方不明からすでに4時間ほど経過して陽が落ちたのにまだ発見されてない事態に、いてもたってもいられず、ピバークを前提とした登山装備を背負って家を出た。

当時、手元の気温計では摂氏9℃。6歳児では体温維持は難しく、状況を考えると今夜が山場という一刻を争う事態だった。警察捜査範囲外にも存在の可能性があることを考え、急斜面から藪まで男の子の名前を呼びながら探

し回った。

捜索から1時間30分経った21時ごろ、呼びかけに対して微かに返事が聞こえ、その方向かうと登山道もない急斜面の藪の中に座っている男の子を発見し救出した。

今回、この行動がとれたのは、日ごろのスカウト活動から得た奉仕の精神と、趣味の登山で培った山に対しての経験と知識が原動力になったと思う。「ボランティア活動」ということが世間に浸透し、いざというときに助け合えることは素晴らしいことである。

遭難者救助という事態は稀だが、交通事故や、

困っている年配者や障がい者に出会うことは決して稀なことではない。

そんな場面では、ボーイスカウトで身につけた人助けの精神を思い出し、決して無理はせず、自分の能力を確認し、可能な範囲で行動することが大切だと今回のことを通じて強く感じた。

自分がボーイスカウトでつけた力で誰かを助けることによって、その人の人生を変えるかもしれない。そのようなときに、いつでも人助けができる力を身につけられるボーイスカウトの活動は、とても素晴らしいと思いませんか？ 日本のボーイスカウトの益々の繁栄を願って。

ローカルホットライン Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- … 団
- ☒ … 地区
- … 都道府県連盟
- ◇ … その他

百々ヶ峰で不明男児救う

岐阜北署感謝状

岐阜市長良古津の百々ヶ峰で行方不明となった同市の年長児(6)を捜し出したとして、岐阜北署は27日、登山グループの6人に、感謝状を贈った。同署で大久保成幸署長から感謝状を受け取った6人は、発

見当時の様子を語り「居ても立ってもいられず、気がついたら向かっていた。男の子が無事よかったです。大好きな山なのでお役に立てて良かった」と話した。

受けたのは会社社員の伏見五男さん(73)＝岐阜市藪田南Ⅱ、無職の瀬戸久信さん(78)＝山県市東深瀬Ⅱ、会社員の長尾洋司さん(60)と妻の明子さん(60)＝岐阜市岩崎Ⅱ、福祉支援員の安藤友美さん(54)＝同市則武Ⅱ、朝日大3年の坂本聖弥さん(21)＝同市栗野西Ⅱ。

24日午後2時ごろ、祖父と山登りに行った男児が行方不明になり、警察や消防が捜索していた。伏見さんによると、同日午後6時ごろ、「百々ヶ峰で子どもが行方不明になっている」と妻から連絡を受けた伏見さんは、登山仲間の瀬戸さんらに声を掛け現地に集合、ニュースを聞いて駆け付けた坂本さんと共に午後7時30分ごろから現場付近を捜し回った。擦り傷を負いながら草木をかき分けて捜索を続けたという。約1時間40分後、日が暮れた山中で座り込んでいた男児を発見。男児は呼び掛けに元気に応じ、飲料水を勢いよく飲んだという。男児にけがはなく、無事に保護でき

たときは、「やった」と6人で喜び合った。この日、感謝状を受け取った坂本さんは「いい経験になった。これからも人助けをしていきたい」と笑顔を見せた。

感謝状を受け取った登山愛好家の6人＝岐阜北署

岐阜新聞 (2021.10.28)

福岡 ☒ 文化の日ほし活動

福岡地区委員長 井手 直秀

福岡市科学館から依頼を受け、7人のスカウトが「ロープワークをやってみよう」の奉仕を行いました。そのうちの一人が感想を書きました。

わたしは文化の日ほし活動に行きました。ロープのむすび方を教えに行きました。もやいむすび、ほんむすび、はちのじむすび、とめむすび、を教えました。男の子とお母さんの親子に教えました。さいしょはきんちょうしてうまく教えられませんでした。でも話していくうちに慣れてきて上手に教

えられるようになりました。もやいむすびを教えるのにくせんしました。その後にはいっしょにロープを使うゲームをしました。男の子が強かったです。

おわりの時間になって男の子が帰る時にわたしのところへきて「ありがとうございました」と言ってくれたことがとってもうれしかったです。その時に「やっぱりボーイスカウトをやってよかったな」と思いました。りっぱなベンチャースカウトになりたいです。

粕屋第10団 カブスカウト 平田 美月





新 春 弥 栄

| | | |
|---|--|--|
| <p>謹賀新年</p>  <p>ボーイスカウト日本連盟創立100周年 おめでとうございます。</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 顧問 世界救世教 管長</p> <p>長 澤 好 之</p> | <p>謹賀新年</p>  <p>ボーイスカウト日本連盟 特別顧問 浄土真宗本願寺派 門主</p> <p>大 谷 光 淳</p> | <p>謹賀新年</p>  <p>100周年を実りある 年にしましょう</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 理事長</p> <p>水 野 正 人</p> |
| <p>謹賀新年</p>  <p>2022年は創立100周年! より活動的で自立したスカウトを育てましょう。</p> <p>ボーイスカウト日本連盟</p> <p>専務理事 佐 野 友 保 常務理事 膳 師 功 徳 常務理事 出 田 行 徳</p> | <p>謹賀新年 創立100周年に向けて頑張ろう!</p>  <p>ボーイスカウト日本連盟</p> <p>コミッショナー 福 嶋 正 己 副コミッショナー 村 田 禎 章 〃 氏 家 邦 政 〃 山 崎 伊 佐 緒 〃 川 村 悦 子</p> | <p>謹賀新年</p>  <p>Growth with inclusive and no-one left behind! 共に一歩前進</p> <p>ボーイスカウト日本連盟</p> <p>国際コミッショナー 嶋 田 寛 国際副コミッショナー 中 野 ま り 〃 松 平 頼 昌</p> |
| <p>謹賀新年</p>  <p>日本連盟結成100年、慶賀いたします 「何のためのスカウティングか」 「誰のためのスカウティングか」を 改めて問い直す1年にしましょう 新しい年が平安であることをお祈りします</p>  <p>ボーイスカウト日本連盟 顧問 先達 杉 原 正</p> | <p>賀 春 “地域力だ! ボーイスカウト” 子供は家庭・学校・地域の正三角形の 真ん中で育つ権利があります。</p> <p>コロナ禍にめげずに 運動の真価を浸透させましょう!</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 評議員 千葉県連盟名誉会議議員 市川・浦安地区協議会長</p> <p>森 屋 啓</p> | <p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 総裁</p> <p>御 手 洗 富 士 夫</p> <p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 特別顧問</p> <p>樋 口 武 男</p> |
| <p>謹賀新年</p> <p>公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 副理事長 日本ボーイスカウト大阪連盟 連盟長</p> <p>大 坪 文 雄</p> | <p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 評議員 大阪ボーイスカウト振興協会 評議員</p> <p>辰 野 勇</p> | <p>頌 春</p> <p>日本連盟 評議員 浄土真宗本願寺派スカウト指導者会 理事長 静岡県連盟 副連盟長</p> <p>土 山 和 雅</p> |
| <p>謹賀新年 指導者は日本国民の模範たれ!!</p> <p>日本連盟 評議員 広島県連盟 理事長 広島第30団 団委員長</p> <p>橋 本 貢</p> | <p>謹賀新年</p> <p>日本連盟 評議員 神奈川連盟 相談役 横浜第100団 団委員長</p> <p>中 川 玄 一</p> | <p>奉 賀 新 年</p> <p>荒 尾 雅 也</p> <p>東京連盟目黒第7団 ボーイスカウト日本連盟 相談役 世界スカウト財団 理事</p> |
| <p>4月13日 少年団日本連盟結成記念日 同日「より良い世界の創造を目指して 上」発刊</p> <p>日本連盟 顧問・先達 千葉県連盟 顧問 日本連盟創立100周年記念史編纂委員長</p> <p>鈴 木 國 夫</p> | <p>謹賀新年</p> <p>日本連盟 理事・共済運営特別委員長</p> <p>戸 高 有 基</p> | <p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 理事・財務委員長</p> <p>和 田 剛 和</p> |
| <p>頌 春</p> <p>2024年8月に開催する13NAを 引き続きご支援ください。</p> <p>日本連盟 理事・防災危機管理担当 第13回日本アグーナリー実行委員長</p>  <p>増 子 恵 二</p> | <p>賀 正 2022年度、新体制スタート!</p> <p>日本連盟理事 改革担当</p> <p>磯 山 友 幸</p> | <p>謹 賀 新 年</p> <p>スカウトの笑顔のために</p> <p>日本連盟 理事 千葉県連盟維持財団 評議員</p> <p>増 田 秀 夫</p> |

謹賀新年
愛知連盟 連盟長
岡谷 篤一

謹賀新年
愛知連盟 理事長
永井 淳

謹賀新年
日本連盟 理事・プログラム委員長
榎原 孝治

謹賀新年
公益財団法人 神奈川県少年少女育成指導協会副会長
武井 重利

謹賀新年
横浜第87 団団委員長
鈴木 武道

迎春 彌榮
さわやかな世界を創りましょう
矢島 巖

日本スカウト切手・メモリアクラブ
スクアティング関係の切手、ワッペン、資料のコレクションに興味のある方はご連絡を

日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ
JA1YSS JA2YSS JA4YSS JH1YSS
松平 頼武

千葉県エバグリーンスカウターズクラブ
代表幹事 沢田 悦三朗
副代表幹事 阿部 猛郎

指導者養成委員会
委員長 栗田 哲郎
副委員長 志賀 下江

日本連盟トレーニングチーム
ディレクター 栗田 哲郎
副ディレクター 平田 恭一

謹賀新年
高野山真言宗スカウト連絡協議会
〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山347

大阪連盟(せんしゅう地区)貝塚第2団
育成会長 田端 隆彦
副会長 井上 菊信

イチヤリバ チョウデー!
沖縄スカウトクラブ
顧問 阿波根 直孝

人権・環境・平和
曹洞宗スカウト協議会
〒105-8544 東京都港区芝2-5-2

日本スカウトライオンズ
会長 伊賀 保夫
副会長 鬼塚 俊之

Rotary
日本スカウトロータリアン
会長 松平 頼武
副会長 犬飼 康元

新春 彌榮
日本オールドスカウトクラブ
名誉会員 三石 昌智
相談役 大村 石山

私たちは、本運動の普及と加盟員の増加を目指して連携していきます
団支援・組織拡充委員会
社会連携・広報委員会
中途退団抑止特別委員会



新春 弥 栄

大谷スカウト連合協議会

— 2023年 宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要 厳修 —



— <宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百周年慶讃テーマ>
南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|---------------|------------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|-----------------|
| 書記 谷 俊 | 主事 萩 村 一 | 部長 木 村 理 佳 | 真宗大谷派 青少年センター | 会計監査 滋 賀 俊 正 | 〃 岩 佐 正 晃 | 〃 沖 田 淳 子 | 〃 増 田 和 子 | 〃 山 縣 年 博 | 〃 井 伊 光 紉 | 〃 三 森 孝 規 | 〃 下 妻 正 純 | 〃 松 田 幸 子 | 〃 目 津 善 祐 | 〃 巨 津 嘉 彦 | 〃 平 野 尚 治 | 〃 糟 谷 和 裕 | 〃 東 和 裕 朗 | 〃 捧 田 千 絵 保 | 〃 品 田 千 絵 保 | 〃 井 垣 光 弘 | 〃 小 島 廣 子 | 〃 北 橋 秀 啓 | 〃 大 橋 友 法 | 〃 井 上 英 英 | 顧問 黒 川 紘 紀 | 参与 堀 田 代 俊 孝 |
|-----------|-------------|---------------|------------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|-----------------|

東京教区大谷スカウト連合協議会

| | |
|--------------|---------------|
| 委員長 堀 秀之 | 委員 原田伸一 |
| 副委員長 古瀬啓子 | 〃 小林幸雄 |
| 委員 井垣光弘 | 〃 木村行伸 |
| 〃 品田千絵保 | 〃 町田正照 |
| 〃 高島利明 | 〃 武田佐代子 |
| 〃 吉岡優二 | 東京教務所 海 未来 |

1924～ 金光教スカウト協議会 ～2022

大正13年 金光教少年団創設

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------------|------------|-------------|-------------|-----------|--------------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 名譽総裁 金光浩道 | 総裁 岩崎道興 | 会長 金光清治 | 副会長 木村広男 | 理事長 萬野真信 | 〃 萬野信一 | 副理事長 木村幸雄 | 近藤久美子 | 安部昭一郎 | 金光善行 | 湯川浩一 | 森定信吉 | 木村二美 | 河端優子 | 森奥征年 | 古澤太朗 | 居森信枝 | 山田実雄 | (欠員) |
|--------------|------------|------------|-------------|-------------|-----------|--------------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|
| 相談役 松本光明 | 高橋好輝 | 高阪忠裕 | 湯川正夫 | 湯川壽雄 | 三宅光雄 | 木原光信 | 安部孝次郎 | 田中弘 | 八坂朋道 | 吉木美智雄 | 石橋啓二 | 安武道義 | 石井弘道 | 光本生郎 | 河端秀次 | 新阜信江 | 篠田常生 | 甲斐紀成 | 高田佳子 | 事務局 | 事務局長 |
|-------------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|

事務局／〒719-0111 岡山県浅口市金光町大谷320 金光教本部教庁内 電話／0865-42-3111 FAX／0865-42-3140

Scouting x Mastery for Service

関西学院に在籍しているスカウト
OB・OG各位の登録を募集中!

関西学院スカウトクラブ
会長 上道 小太郎
副会長 上野 智基
幹事長 高橋 昌敏

■お問い合わせは E-mail: kgrovers@gmail.com
Twitter: kwangakurovers

■くわしくは 関西学院スカウトクラブ

同志社に在籍するスカウトの入隊を歓迎します



同志社大学ローバースカウト隊 (京都連盟・京都第43団)

| | |
|-------------------|----------------------|
| 育成会長 近 藤 裕 司 | 常 生 (OB会会長) 一 司 郎 |
| 団委員長 草 野 公 郎 | |
| 隊長 田 中 公 郎 | |
| OB会幹事長 田 中 公 郎 | |

お問い合わせは、E-mail: boggi-papa@dance.ocn.ne.jp
または、携帯: 090-1912-5507 (田中幹事長) まで

謹 賀 新 年

慶應スカウト三田会 東京連盟港第3団
慶應義塾大学ローバースカウトクルー

育成会長 田 邊 建一朗 ローパー隊長 青 木 崇 行
団委員長 萩 原 泰 夫 ローパー代表 成 松 泰 志
https://keiorover.org

浄土真宗本願寺派スカウト指導者会

慶讃法要スローガン「ご縁を慶び、お念仏とともに」

| | | | | | | | | | |
|---------------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|--------------|---------------|
| 事務局長 佐々木龍三 | 理 事 菊池孝子 | 〃 淵本法仁 | 〃 霊岳弘志 | 〃 杉本光俊 | 〃 梁瀬正文 | 理 事 高倉健司 | 〃 沖井智子 | 副理事長 白川淳敬 | 理 事 長 土山和雅 |
|---------------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|--------------|---------------|

事務局／京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派宗務所内
電話／075-371-5181 (代表) E-mail: scout@hongwanji.or.jp

謹賀新年

創部大正13年 98周年
東京連盟城北地区豊島8団
立教大学ローバース OB・OG 会

問合せ先 E-mail thrrr445@ybb.ne.jp

京都大学には
ローバー隊があります!!

京大ローバー隊は昭和34年に発隊した歴史のある団です。現在はOB会が支援しています。

京都第36団(京大ローバー隊)
e-mail: kyoto.rs36@gmail.com

近畿大学に在籍するスカウトの入隊を歓迎します

近畿大学ローバースカウト隊
(大阪連盟・東大阪第7団 近畿大学ローバースカウト部)

隊 長 中 田 雅 之
お問合せ E-mail: nakamasa13351003@outlook.jp

日本ボーイスカウト愛媛県連盟

連盟長 宮内 正 民
 理事長 戸井田 樂
 県連盟コミッショナー 横井 寿子
 事務局長 垣 添 国 博
 公益財団法人愛媛県スカウト運動維持財団
 代表理事 関 啓 三
 業務執行理事 久 保 継 二

日本ボーイスカウト大分県連盟

連盟長 広瀬 勝 貞
 副連盟長 阿南 國 康 副理事長 高 椋 清
 理事長 戸高 有 基 県連盟コミッショナー 真田 康 広
 副理事長 池 辺 晴 美 事務局長 内 田 日 出 男

日本ボーイスカウト宮崎連盟

連盟長 河野 俊 嗣 副理事長 山口 洋 一
 理事長 池 本 要 〃 林 幸 孝
 〃 山 本 卓 也
 県連盟コミッショナー 村 永 盛 哉 事務局長 黒 木 省 子



ゴロカリグラーブ
 ターバンカレー ホットハウス
 代表 宮森 宏 和
 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル3階

謹賀新年 

キッズニア東京は“ボーイスカウト東京連盟江東第6団”を支援しています。

謹賀新年 

株式会社ヤクルト本社
 常務執行役員 榎 良 昌 利
 〒105-8660 東京都港区海岸1-10-30
 tel: 03-6625-8938 fax: 03-6747-8020

謹賀新年 

江崎グリコ株式会社は
 ボーイスカウト運動を応援しています

 **VICTORINOX**
 ビクトリノックス 銀座店 限定
 「ボーイスカウト機関誌を見た」とお伝えいただくと
 名入れ彫刻を無料サービス*致します。
 ※対象モデル/フィールドマスター
 03-5537-5832 通販可
 info.ginza.jp@victorinox.com

新春弥栄 円石コンサルタント(株)
 代表取締役会長 池 田 和 子
 代表取締役社長 川 久 保 政 茂
 (早稲田大学稲門スカウト倶楽部)
 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-2-1

 **国際航空写真株式会社**
 代表取締役 早 川 太 郎

日本ボーイスカウト福岡県連盟

Since 1925

連盟長(福岡県知事) 服 部 誠 太 郎
 副連盟長 長 尾 時 男
 理事長 森 永 信 一 路
 副理事長(地区代表理事) 井 手 直 秀 章
 県連盟コミッショナー 結 城 利 章
 県連盟副コミッショナー 郡 島 三 曉
 県連盟副コミッショナー 坂 口 亮 二
 県連盟ディレクター 小 山 俊 寛
 事務局長 堤 寛

2025年に100周年を迎えます!



ボーイスカウト日本連盟
 医療チーム 幹事会

水 谷 惠 至 (愛知)
 平 沢 邦 彦 (福井)
 岩 井 敏 恭 (香川)
 松 田 和 郎 (京都)
 嶋 田 理 佳 (京都)
 西 嶋 由 貴 子 (茨城)
 三 和 千 里 (兵庫)
 一 之 瀬 嶋 真 弥 (埼玉)
 中 村 山 志 (岐阜)
 村 山 栄 子 (埼玉)
 渡 邊 章 裕 (神奈川)
 村 上 丈 真 真 真 (愛知)
 村 上 丈 真 真 (東京)

「感 | 動 | 空 | 間 | 創 | 造 | 技 | 術 |」
 Total Space Production
謹賀新年
 感動空間創造技術でスカウト活動をお手伝いしています
 高輪ゲートウェイフェスト(高輪ゲートウェイ駅前広場)

 **TSP 太陽株式会社** www.tsp-taiyo.co.jp
 [東京本社] 03-3719-3721 [大阪支店] 06-6306-3150
 [営業所] 札幌・仙台・福島・栃木・さいたま・千葉・横浜・浜松・名古屋・石川・三重・滋賀・奈良・和歌山・岡山・広島・福岡・佐賀・鹿児島

 **RioTinto**
謹賀新年 
 リオテントジャパン株式会社は
 ボーイスカウト日本連盟の活動を応援しています。

謹賀新年
 パロアルトネットワークスは、
 新チャレンジ章
 「サイバーセキュリティヒーロー」の支援を含め、
 ボーイスカウト運動を応援致します。

 パロアルトネットワークス株式会社
 https://www.palooaltonetworks.jp/

 **共立印刷株式会社**
 代表取締役社長 篠 原 憲 一

 **TRY CO.,LTD**
 株式会社トライ
 代表取締役 立 川 勝 得

 **パシフィックヴィジョン株式会社**
 代表取締役社長 笹 沢 明 宏



第49回

全国ボーイスカウト 写真コンテスト応募受付中!!

これまではプリントした写真のみの応募を受け付けていましたが、
今回からはより手軽にオンラインでコンテストに参加することができます。
お手持ちのスマートフォンで撮影したベストショットをご応募ください。



オンラインでの応募も続々と届いています。

オンライン
での
参加方法は
こちら

- ステップ 1** | Instagram からご応募ください。アカウントをお持ちではない方は、事前にアカウントを作成してください。
- ステップ 2** | ボーイスカウト日本連盟の公式アカウントをフォローしてください。
- ステップ 3** | コンテストに応募したい写真を投稿してください。その際、本文に「写真のタイトル、コメント」そして、# **ボーイスカウトフォトコン** というハッシュタグを必ずつけてください。このハッシュタグがあることでコンテストへの応募とみなします。



締切
2022年2月28日(月)
23時59分まで

投稿された写真は、随時日本連盟 Web サイトに掲載されます。すでに多くの作品が届いていますので、どのような作品が応募されているのか楽しみながらコンテストにご参加ください。

例年のおり、プリントアウトした写真の応募も受け付けています。コンテストの概要や応募上の注意など詳しくは日本連盟 Web サイトをご覧ください。



<https://www.scout.or.jp/member/49thphotocontest/>

◎訃報

日本連盟 参与 久野 桂

日本連盟参与としてご尽力いただいた久野桂氏(元日本連盟 理事、元 日本連盟 国際コミッショナー)が令和3年12月10日、逝去されました(享年89)。
謹んでご冥福をお祈りいたします。



【日本連盟等奉仕歴】 日本連盟評議員(1994～)、日本連盟中央審議会議員(1996～)、日本連盟理事(1997～)、日本連盟国際コミッショナー(1997～)、アジア太平洋地域広報委員長(1998～)等

【日本連盟等受章歴】 アジア太平洋地域特別功労章(2005)、日本連盟たか章(2007)、世界スカウト機構ブロンズウルフ章(2010)等



SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、令和4年3月1日発行

Happy 100th Anniversary

100周年記念事業が、いよいよ始動します。100年前から今、そして未来のスカウティングへの「夢」までをつないでいく予定です。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03-6913-6262(代表) FAX 03-6913-6263
Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定 / 本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
「スカウティング」2022年1月号 No.747 令和4年1月1日発行(奇数月1日発行)
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>
「スカウティング」は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封して送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封して送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局「スカウティング」担当にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。
©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2022 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報担当(代表 TEL: 03-6913-6262)までご連絡ください。

SCOUTING

デジタル配信しています!



機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。デジタル版は、文字そのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひご活用ください。



URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>
ID: scouting-magazine
PASS: sonaeyotuneni

18th NIPPON SCOUT JAMBOREE ALL OVER JAPAN OFFICIAL GOODS

今夏開催する 18NSJ の記念品が新登場。大会に向けて各種商品を販売します。最新情報は、大会ホームページはじめ、ONLINE SCOUT SHOP や各種 SNS をぜひチェックしてください！



品名：18NSJ チーフリング
品番：73101 (いぶし銀) 73102 (カラー)
税込価格：¥462-
仕様：鉄製 約40×35mm

品名：18NSJ Flight キーホルダー
品番：73122
税込価格：¥385-
仕様：約130×30mm

品名：18NSJ ラゲッジタグ
品番：73121
税込価格：¥385-
仕様：約110×65mm (裏面に名刺挿入可能)

品名：18NSJ ピンバッジ
品番：73111 (いぶし銀) 73112 (カラー)
税込価格：¥330-
仕様：鉄製 約25×21mm

品名：18NSJ クラシック SD
品番：73120
税込価格：¥2,420-
仕様：9×58mm 21g 7機能
ビクトリノックス社製

※Flightキーホルダーの写真は表と裏です。

迎春
弥栄

福袋 2022

毎年ご好評いただいております「福袋」を販売いたします。
今年もご用意した福袋限定トートバッグの中には100周年
記念商品やスカウトカレンダーも！
数量限定。売り切れ御免。

品番：90000 税込価格：¥10,000-



※表示商品は一例です。

スカウトカレンダー 2022

今年のカレンダーのテーマは「Scouting is FUTURE」。100周年を記念して、今と昔を対比させたデザインで、今までの100年とこれからの未来を感じるカレンダーになっています。ご自宅はもちろん、さまざまなお店などでご利用いただき、ボーイスカウトをPRしましょう！ 年間行事ステッカー付。

品番：90022 税込価格：¥858- サイズ：A4判変型



SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan

各商品の発売情報や詳細は、各販売協力店や、ホームページ、各種 SNS、ONLINE SCOUT SHOP のメールマガジンでお知らせしていきますので、ご確認ください。



アイコムは無線通信機器で 全国のスカウト活動をサポートしています。

アイコムは、アマチュア無線機器を中心に無線通信機器を提供することで、全国のスカウト活動をサポートしています。また、技術支援を通じて、スカウトの皆様の無線技術の習得にも貢献しています。

屋外にも持ち出せる
コンパクトランシーバー

より高度な運用も楽しめる
多機能ランシーバー

屋外での活動に最適な
携帯型ランシーバー



HF+50MHz+144MHz+430MHz
<SSB/CW/RTTY/AM/FM/DV>
10Wトランシーバー (GPSレシーバー内蔵)

IC-705



HF+50MHz
<SSB/CW/RTTY/AM/FM>
10Wトランシーバー

IC-7300S



144/430MHz
デュアルバンド5W
デジタルトランシーバー
(GPSレシーバー内蔵)

ID-52

アマチュア無線を
はじめよう。

詳しい資料を差し上げます。

アマチュア無線なら、仲間同士はもちろん、日本全国、世界各国と交信することができます。アマチュア無線を楽しむためには、免許が必要ですが、小学生の低学年の子供たちも、免許を取得していますので、それほど難しいことではありません。詳しくは資料をご請求ください。▶▶▶

希望の方は、ハガキに製品名、住所、氏名、年齢をご記入の上、〒547-0003 大阪市平野区加美南 1-1-32 アイコム(株) ボーイスカウト会報誌「SCOUTING」係まで。



スカウトイング
発行 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
令和4年1月1日発行 (奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03 (6913) 6262 (代)

定価 200 (税込)
郵便振替 00130-1-66119
口座名義 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

